学校番号	T3009

令和８年度　工業科

教科	工業	科目	機械製図	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	機械製図（実教出版）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

機械に関わるものだけではなく、日常生活の中で使用している工業製品に目を向け、しくみや成り立ちなど細部に渡り考察する力を身に付けよう。
機械製図の基礎・基本を学習し、簡単なものから順に手描きしながら機械製図に慣れ親しもう。
製図用具の正しい使用法を理解し、準備から片付けまで整理・整頓に努めよう。

２　学習の到達目標

【知識及び技術】機械製図について日本工業規格及び国際標準化機構規格を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】製作図や設計図に関する課題を発見し、機械に携わる者として科学的な根拠に基き工業技術の進展に対応し解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】機械に関する部品や製品の図面の作成及び図面から製作情報を読み取る力の向上を目指す。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	各種機械や部品の製作に使用される図面の作成に関する基礎的・基本的な知識を習得している。 また、図面の役割や作図法、丁寧・きれいまた迅速に描ける技術を身に付けている。	図面の作成における諸問題を的確に把握し、考察を深めるとともに機械製図に関する知識と技術を活用しながら表現する力を身に付けている。	図面を作成することに興味・関心を持ち、機械製図の意義や役割を理解して学習に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	製図の基礎	・機械製図と規格 ・製図用具とその使い方 ・図面に用いる文字と線 ・基礎的な図形の描き方 ・投影図の描き方 ・立体的な図示法 ・展開図	a:図面の役割や製図総則・JIS規格の必要性を理解し、身に付いている。 b:図面の役割やJIS規格の重要性について理解し、思考・判断や表現する力が身に付いている。 c:図面の役割やJIS規格に興味を持ち、誤りのない図面を描く力が身に付いている。	**定期考査**	**定期考査** **提出物**	**提出物**
前期 後期	製作図	・製作図のあらまし ・図形の表し方 ・寸法記入法	a:JIS規格で定められた尺度や図面の様式について理解している。 b:JIS規格で定められた尺度や図面の様式に思考・判断し、内容の理解に取り組んでいる。 c:JIS規格で定められた尺度や図面の様式に興味・関心を持ち、内容の理解に取り組んでいる。	**定期考査** **図面**	**定期考査** **提出物** **図面**	**提出物** **図面**
後期	製作図	・公差・表面性状 ・スケッチ	a:寸法公差の記入法やはめあいの種類、表面性状の図示方法を身に付けている。 b:寸法公差の記入法やはめあいの種類、表面性状の図示方法を適切に思考・判断し、関連知識を活用している。 c:寸法公差の記入法やはめあいの種類、表面性状の図示方法に興味・関心を持ち、知識と技術の習得に取り組んでいる。	**定期考査** **図面**	**定期考査** **提出物** **図面**	**提出物** **図面**

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度